

世界遺産

日本の世界遺産

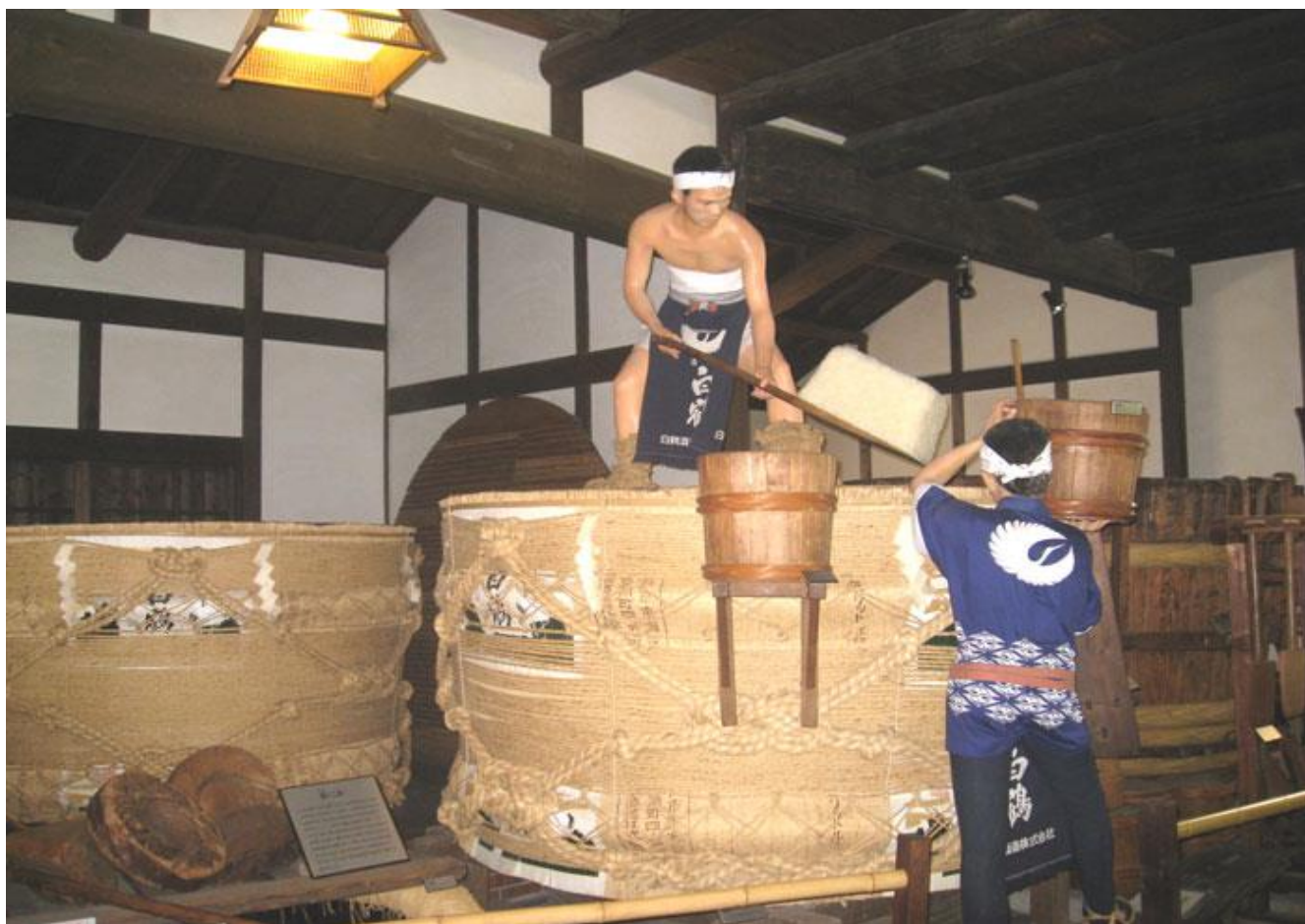


世界遺産の名称		所在地	登録年月
自然遺産	白神山地	青森県、秋田県	1993年12月
	屋久島	鹿児島県	1993年12月
	知床	北海道	2005年7月
	小笠原諸島	東京都	2011年7月
	奄美大島、徳之島、沖縄島北部および西表島	鹿児島県、沖縄県	2021年7月
文化遺産	法隆寺地域の仏教建造物	奈良県	1993年12月
	姫路城	兵庫県	1993年12月
	古都京都の文化財（京都市、宇治市、大津市）	京都府、滋賀県	1994年12月
	白川郷・五箇山の合掌造り集落	岐阜県、富山県	1995年12月
	原爆ドーム	広島県	1996年12月
	厳島神社	広島県	1996年12月

	世界遺産の名称	所在地	登録年月
文化遺産	古都奈良の文化財（京都市、宇治市、大津市）	奈良県	1998年12月
	日光の社寺	栃木県	1999年12月
	琉球王国のグスク及び関連遺産群	沖縄県	2000年12月
	紀伊山地の霊場と参詣道	三重県、奈良県、和歌山県	2004年7月
	石見銀山遺跡とその文化的景観	島根県	2007年7月
	平泉-仏国土を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群	岩手県	2011年7月
	富士山-信仰の対象と芸術の源泉	山梨県、静岡県	2013年7月
	富岡製糸場と絹産業遺産群	群馬県	2014年7月
	明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域	福岡県、長崎県、佐賀県、熊本県、鹿児島県、山口県、静岡県、岩手県	2015年7月
	国立西洋美術館	東京都	2016年7月
	『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群	福岡県	2017年7月
	長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産	長崎県、熊本県	2018年7月
	百舌鳥・古市古墳群	大阪府	2019年7月
	北海道・北東北の縄文遺跡群	北海道、青森県、岩手県、秋田県	2021年7月
	佐渡島の金山	新潟県	2024年7月



※文化庁「日本の世界文化遺産」より



登録年	遺産の名称	関係地域	分野	保護団体、又は所属機関・団体
2001	能楽	—	伝統芸能	(社) 日本能楽会
2003	人形浄瑠璃文楽	—	伝統芸能	人形浄瑠璃文楽座
2005	歌舞伎	—	伝統芸能	(社) 伝統歌舞伎保存会
2009	雅楽	—	伝統芸能	宮内庁式部職楽部
2009	小千谷縮（おぢやちぢみ）	新潟県	工芸技術（染織）	越後上布・小千谷縮布技術保存協会
2009	越後上布（えちごじょうふ）	新潟県	工芸技術（染織）	越後上布・小千谷縮布技術保存協会
2009	甑島（こしきじま）のトシドン	鹿児島県薩摩川内市下甑町	民俗	甑島トシドン保存会
2009	奥能登のあえのこと	石川県珠洲市、輪島市、鳳珠郡能登町及び穴水町	民俗	奥能登のあえのこと保存会

登録年	遺産の名称	関係地域	分野	保護団体、又は所属機関・団体
2009	早池峰神楽（はやちねかぐら）	岩手県花巻市	民俗	早池峰神楽保存会、大償神楽保存会、岳神楽保存会
2009	秋保（あきう）の田植踊	宮城県仙台市太白区秋保町	民俗	秋保の田植踊保存会、湯元の田植踊保存会、長袋の田植踊保存会
2009	大日堂舞楽	秋田県鹿角市八幡平	民俗	大日堂舞楽保存会
2009	題目立（だいもくたて）	奈良県奈良市	民俗	題目立保存会
2009	アイヌの古式舞踊	北海道札幌市、千歳市、旭川市、白老郡白老町、勇払郡むかわ町、沙流郡平取町、沙流郡日高町、新冠郡新冠町、日高郡新ひだか町、浦河郡浦河町、様似郡様似町、帯広市、釧路市、川上郡弟子屈町及び白糠郡白糠町	民俗	北海道アイヌ古式舞踊連合保存会、札幌ウポポ保存会、千歳アイヌ文化伝承保存会、旭川チカップアイヌ民族文化保存会、白老民俗芸能保存会、鶴川アイム無形文化伝承保存会、平取アイム文化保存会、紋別ウタリ文化保存会、新冠民族文化保存会、静内民族文化保存会、三石民族文化保存会、浦河ウタリ文化保存会、様似民族文化保存会、帯広カムイトウウポポ保存会、春採アイヌ古式舞踊釧路リセム保存会、弟子屈町屈斜路古丹アイヌ文化保存会、阿寒アイヌ民族文化保存会、白糖アイヌ文化保存会
2010	組踊	沖縄県	民俗	伝統組踊保存会
2010	結城紬（ゆうぎつむぎ）	茨城県、栃木県	工芸技術（染織）	本場結城紬技術保存会
2011	佐陀神能（さだしんのう）	島根県	民俗	佐陀神能保持者会
2011	壬生（みぶ）の花田植	広島県	民俗	壬生の花田植保存会
2012	那智の田楽	和歌山県	民俗	那智の田楽保存会
2013	和食 日本人の伝統的な食文化		工芸技術（その他）	和食文化国民会議
2009 2014 変更	和紙 日本の手漉き和紙技術（わしにほんのてすきわしぎじゅつ）	埼玉県、岐阜県、島根県	工芸技術（その他）	細川紙技術保存会、本美濃紙技術保存会、石州半紙技術者会（「石州半紙」は2009年登録済み分をグループ化）

登録年	遺産の名称	関係地域	分野	保護団体、又は所属機関・団体
2009 2016 変更	山・鉾・屋台行事	18府県33	民俗	33件は下記のとおり 八戸三社大祭の山車行事、角館祭りのやま行事、土崎神明社祭の曳山行事、花輪祭の屋台行事、新庄まつりの山車行事、日立風流物、烏山の山あげ行事、鹿沼今宮神社祭の屋台行事、秩父祭の屋台行事と神楽、川越氷川祭の山車行事、佐原の山車行事、高岡御車山祭の御車山行事、魚津のタテモン行事、城端神明宮祭の曳山行事、青柏祭の曳山行事、高山祭の屋台行事、古川祭の起し太鼓・屋台行事、大垣祭のやま行事、尾張津島天王祭の車楽舟行事、知立の山車文楽とからくり、犬山祭の車山行事、亀崎潮干祭の山車行事、須成祭の車楽船行事と神葎流し、鳥出神社の鯨船行事、上野天神祭のダンジリ行事、桑名石取祭の祭車行事、長浜曳山祭の曳山行事、京都祇園祭の山鉾行事、博多祇園山笠行事、戸畑祇園大山笠行事、唐津くんちの曳山行事、八代妙見祭の神幸行事、日田祇園の曳山行事
2009 2018 変更	来訪神 仮面・仮装の神々	8府県10	民俗	10件は下記のとおり 甕島のトシドン、(以下追加)男鹿のナマハゲ、能登のアマメハギ、宮古島のパートォ、遊佐の小正月行事、米川の水かぶり、見島のカセドリ、吉浜のスネカ、薩摩硫黄島のメンドン、悪石島のボゼ
2020	伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術	17件	伝統工芸技術	国の選定保存技術のうち以下の17件。「建造物修理」、「建造物木工」、「檜皮葺ひわだぶき・柿葺こけらぶき」、「茅葺かやぶき」、「檜皮ひわだ採取」、「屋根板製作」、「茅かや採取」、「建造物装飾」、「建造物彩色さいしき」、「建造物漆塗うるしぬり」、「屋根瓦葺がわらぶき(本瓦葺ほんがわらぶき)」、「左官(日本壁)」、「建具製作」、「畳製作」、「装潢そうこう修理技術」、「日本産漆生産・精製」、「縁付えんつけ金箔きんぱく製造」

登録年	遺産の名称	関係地域	分野	保護団体、又は所属機関・団体
2009 2022 変更	風流踊	24都府県41	民俗	<p>41件は下記のとおり ユネスコ無形文化財遺産「風流踊」一覧 チャッキラコ、永井の大念仏剣舞、鬼剣舞、西馬音内の盆踊、毛馬内の盆踊、小河内の鹿島踊、新島の大踊、下平井の鳳凰の舞、山北のお峰入り、綾子舞、大の阪、無生野の大念仏、跡部の踊り念仏、新野の盆踊 和合の念仏踊、郡上踊、寒水の掛踊、徳山の盆踊、有東木の盆踊、綾渡の夜念仏と盆踊、勝手神社の神事踊、近江湖南のサンヤシ踊り、近江のケンケト祭り長刀振り、京都の六斎念仏、やすらい花、久多の花笠踊、阿万の風流大踊小踊、十津川の大踊、津和野弥栄神社の鷺舞、白石踊、大宮踊、西祖谷の神代踊、綾子踊、滝宮の念仏踊、感応楽、平戸のジャンガラ、大村の沖田踊・黒丸踊 対馬の盆踊、野原八幡宮風流、吉弘楽、五ヶ瀬の荒踊</p>
2024	伝統的酒造り		民俗	<p>500年以上前に原型が確立した日本の「伝統的 酒造り」は、 ▽米や麦などを蒸す、 ▽こうじを作る、 ▽もろみを発酵させるなど、 伝統的に培われてきた技術が各地の風土に応じて 発展し、自然や気候と深く結びつきながら伝承されてきました。</p>



1. 世界農業遺産

認定年度	農業遺産の名称	該当市町
2011	トキと共生する佐渡の里山	新潟県佐渡市
	能登の里山里海	石川県能登地域
2013	静岡の茶草場農法	静岡県掛川周辺地域
	阿蘇の草原の維持と持続的農業	熊本県阿蘇地域
	クヌギ林とため池がつなぐ国東半島・宇佐の農林水産循環	大分県国東半島宇佐地域
2015	清流長良川の鮎	岐阜県長良川上中流域
	みなべ・田辺の梅システム	和歌山県みなべ・田辺地域
	高千穂郷・椎葉山地域の山間地農林業複合システム	宮崎県高千穂郷・椎葉山地域

認定年度	農業遺産の名称	該当市町
2017	“大崎耕土”の巧みな水管理による水田システム	宮城県大崎地域
2018	静岡水わさびの伝統栽培	静岡県わさび栽培地域
	にし阿波の急傾斜地農耕システム	徳島県にし阿波地域
2022	峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システム	山梨県峡東地域
	森・里・湖（うみ）に育まれる漁業と農業が織りなす琵琶湖システム	滋賀県琵琶湖地域
2023	大都市近郊に今も息づく武蔵野の落ち葉堆肥農法	埼玉県武蔵野地域
	人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム	兵庫県美方地域

2. 日本農業遺産

認定年度	農業遺産の名称	該当市町
2016	“大崎耕土”の巧みな水管理による水田システム	宮城県大崎地域
	静岡水わさびの伝統栽培	静岡県わさび栽培地域
	にし阿波の急傾斜地農耕システム	徳島県にし阿波地域
	大都市近郊に今も息づく武蔵野の落ち葉堆肥農法	埼玉県武蔵野地域
	雪の恵みを生かした稲作・養鯉システム	新潟県中越地域
	峡東地域の扇状地に適応した果樹農業システム	山梨県峡東地域
	鳥羽・志摩の海女漁業と真珠養殖業	三重県鳥羽・志摩地域
	急峻な地形と日本有数の多雨が生み出す尾鷲ヒノキ林業	三重県尾鷲市、紀北町
2018	森・里・湖（うみ）に育まれる漁業と農業が織りなす琵琶湖システム	滋賀県琵琶湖地域
	人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム	兵庫県美方地域
	歴史と伝統がつなぐ山形の“最上紅花”～日本で唯一、世界でも稀有な紅花生産・染色用加工システム～	山形県最上川地域
	三方五湖の汽水湖沼群漁業システム	福井県三方五湖地域
	下津蔵出しみかんシステム	和歌山県海南市下津地域
	たたら製鉄に由来する奥出雲の資源循環型農業	島根県奥出雲地域
	愛媛・南予の柑橘農業システム	愛媛県南予地域

認定年度	農業遺産の名称	該当市町
2020	氷見の持続可能な定置網業	富山県氷見地域
	丹波篠山の黒大豆栽培～ムラが支える優良種子と家族農業～	兵庫県丹波篠山地域
	南あわじにおける水稲・たまねぎ・畜産の生産循環システム	兵庫県南あわじ地域
	聖地高野山と有田川上流域を結ぶ持続的農林業システム	和歌山県高野・花園・清水地域
	みかん栽培の礎を築いた有田みかんシステム	和歌山県有田地域
	造船材を算出した飼肥林業と結びつく「日南かつお一本釣り漁業」	宮崎県日南市
	宮崎の太陽を風が育む「干し野菜」と路地畑作の高度利用システム	宮崎県田野・清武地域
2023	東稲山麓地域の災害リスク分散型土地利用システム	岩手県東稲山麓地域
	比企丘陵の天水を利用した谷津沼農業システム	埼玉県比企丘陵地域
2024	兵庫の酒米「山田錦」生産システム	兵庫県北播磨・六甲山北部地域
	岩津ねぎを核とした資源循環型農業システム＝伝統種子の継承と地域連携による里地里山保全＝	兵庫県朝来地域
	みなみ阿波の樺木林業システム－照葉樹林に育まれた里山、里海の物語－	徳島県県南地域
	琉球王国時代の「抱護（ポーク）」が育む多良間島の持続的島嶼農業システム	沖縄県多良間地域

URL <http://kdskenkyu.saloon.jp/kdsdata.htm>



選奨年	遺産の名称	内容	所在市町	建築年度
2002 (H14)	旧神戸外国人居留地 下水渠	国産煉瓦を用いた横浜と並ぶ国内最初期の近代下水渠	神戸市	1872 (M5)
2005 (H17)	御坂サイフォン (淡河・山田疎水 施設群?)	イギリス人パーマー設計による日本初のサイフォン橋で、完成から現在に至るまで淡河川疎水の一部として東播磨台地を潤している。	三木市	1891 (M24)
2006 (H18)	武庫大橋	当時最大級(6連)のRC開腹アーチ橋で、開腹部はアーケード状、また装飾的なバルコニーを有する道路橋である。	尼崎市～西宮市	1927 (S2)
2008 (H20)	上田池堰堤	農業土木技術者による初めての粗石モルタル工法による堰堤であり、切石布積が美しい。地域の用水確保に重要な役割を果たしてきている。	南あわじ市	1932 (S7)
2009 (H21)	平木橋	二重配置の輪石、煉瓦壁石造の水路橋で拱矢比1/5の優美な造形に加えて、全国的に希有な英文扁額をもつ貴重な施設である。	加古川市	1915 (T4)

選奨年	遺産の名称	内容	所在市町	建築年度
2010 (H22)	鐘ヶ坂隧道	鐘が坂峠にあるわが国最古（明治16年）のレンガ積み道路トンネルであり、地元の人々の寄付をもとに築造され地域振興に役立てられた。	丹波市	1883 (M16)
2011 (H23)	湊川隧道	明治期の水路トンネルの構造や河川改修事業のあゆみを現代に伝える貴重な土木遺産です。	神戸市	1901 (M34) 1928 (S3)増築 2002 (H14)改修
2014 (H26)	旧余部橋りょう (余部鉄橋)	旧余部橋りょう（余部鉄橋）は「明治末期に東洋一の橋りょうとして建設され、また適切な補修により1世紀にわたりほぼ建設当時の姿を残した貴重な土木遺産」であります。	香美町	1912(M45) 2013 (H25) 一部保存
2017 (H29)	竹野川橋りょう (1)・ 田君川橋りょう(2)	国内で3連現存するラチス桁のうちの2連であり、架設当時の橋梁工事事情を現代に伝える貴重な土木遺産である。	豊岡市	(1)1911 (M44) ラチス1920 (T9) (2)1912 (M45) ラチス1922 (T11)
2018 (H30)	阪神・淡路大震災による被災構造物群	平成7年1月17日に発生した兵庫県南部地震により、神戸市内の被害を受けた主要な被災構造物の保存を通じて、震災の記憶を語り 続けるため、これら遺構を土木遺産とするものである。	神戸市	1995 (H7)被災
2019 (R1)	逆瀬川の砂防設備	逆瀬川の砂防設備は、赤木正雄によるわが国で最初の流路工の事例であり、その後の補修においても当初のデザインをよく踏襲した優れた土木遺産です。	宝塚市	1934(S9)年ごろ
2020 (R2)	阪急電鉄神戸市内線高架橋	阿部美樹志が設計したRC高架橋で、優美な曲線をもつ洗練された造形と阪神・淡路大震災にも耐えた堅牢さを備えます。	神戸市	1936 (昭和11)
2020 (R2)	姫路市営モノレール遺構群	博覧会会場の手柄山中央公園～姫路駅間1.6kmを結んだ全国初となる市営モノレールの遺構群。戦後姫路の躍進と大志の結集体。	姫路市	1966 (昭和41)
2020 (R2)	豊岡市水道の創設期施設	旧城崎町と旧豊岡町の上水道創設期に建設された築百年を迎える施設であり、当時の温泉産業、生活衛生に貢献した土木遺産です。	豊岡市	荒船浄水場：1920 (大正9) 旧豊岡町水道施設： 1922 (大正11)
2021 (R3)	旧成相池堰堤	旧成相池堰堤は、湯水時の農業用水確保のため建造された粗石モルタル造の重力式ダムで、先人の水確保の努力を後世に伝える貴重な土木遺産です。	南あわじ市	1950 (昭和25) 年
2021 (R3)	和田旋回橋	和田旋回橋は、日本初かつ最古の鉄道用可動橋であり、当初の架設地点に供用され続け現在も地元住民により積極的に活用されている貴重な土木遺産です。	神戸市	1899(明治32)年

選奨年	遺産の名称	内容	所在市町	建築年度
2022 (R4)	揖保川畳堤	揖保川畳堤は、眺望への配慮など住民の意見が反映された特殊堤で、住民の防災意識の高さが結実した貴重な現役の土木遺産です。	たつの市	1957(昭和32)年頃
2022 (R4)	摩耶大橋	摩耶大橋は、当時前例のない1本主塔の斜張橋であり、摩耶埠頭と新港突堤を結んで、神戸港の発展に寄与した貴重な現役の土木遺産です。	神戸市	1966(昭和41)年
2022 (R4)	神戸大橋	神戸大橋は、我が国最初のダブルデッキ構造を有する橋梁であり、新港第4突堤とポートアイランドを結び神戸港の発展に寄与した現役の土木遺産です。	神戸市	1970(昭和45)年
2023 (R5)	東高洲橋	東高洲橋は、関西に残る数少ない”本当に動く”可動道路橋であり、尼崎市南部工業地域を支え続け、経済発展に大きく寄与した貴重な土木遺産です。	尼崎市	1966(昭和41)年
2023 (R5)	高砂港 向島突堤	高砂港向島突堤は、工楽松右衛門築造の高砂港防波堤の一部が改修等を重ねながら残されており、港湾築造の技術を現代に伝える貴重な土木遺産です。	高砂市	1810(文化7)年、 1929(昭和4)年改修
2024 (R6)	林田隧道	林田隧道は、摂津・丹波間の交通の難所を解消するため建設され、石ポータルを有する現役の道路隧道の中で日本最古の土木遺産です。	川辺郡猪名川町	1883(明治16)年 →1984(昭和59)年改修 (ボックスカルバート継足・覆工コンクリート設置)
2024 (R6)	阪神甲子園球場・枝川橋梁	阪神甲子園球場・枝川橋梁は、我が国最古の本格的野球場と地域拠点の鉄道駅を支える橋梁で、廃川敷に計画・開発された「甲子園開発」を象徴する貴重な施設です。	西宮市	阪神甲子園球場： 1924(大正13)年 →外野の築堤式スタンドを1929(昭和4)年にRC造(アルプススタンド)、1936(昭和11)年に全てをRC造に改修 枝川橋梁：1925(大正14)年

日本遺産

日本遺産（兵庫県内）

※地域創生・ツーリズム研究所資料 dt29htl.pdf



認定年度	認定ストーリー	該当市町
2015 (H27)	<p>丹波篠山 デカンショ節 -民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶</p> <p>かつて城下町として栄えた丹波篠山の地は、江戸時代の民謡を起源とするデカンショ節によって、地域のその時代ごとの風土や人情、名所、名産品が歌い継がれている。地元の人々はこぞってこれを愛唱し、民謡の世界そのままにふるさとの景色を守り伝え、地域への愛着を育んできた。その流れは、今日においても、新たな歌【デカンショ祭】詞を生み出し新たな丹波篠山を更に後世に歌い継ぐ取組として脈々と生き続けており、今や300番にも上る「デカンショ節」を通じ、丹波篠山の街並みや伝統をそこかしこで体験できる世界が展開している。 (文化庁資料より)</p>	丹波篠山市
2016 (H28)	<p>『古事記』の冒頭を飾る『国生みの島・淡路』～古代国家を支えた海人（あま）の営み～</p> <p>我が国最古の歴史書『古事記』の冒頭を飾る「国生み神話」。この壮大な天地創造の神話の中で最初に誕生する“特別な島”が淡路島である。その背景には、新たな時代の幕開けを告げる金属器文化をもたらし、後に塩づくりや巧みな航海術で畿内の王権や都の暮らしを支えた“海人（あま）”と呼ばれる海の民の存在があった。畿内の前面に浮かぶ瀬戸内最大の島は、古代国家形成期の中枢を支えた“海人（あま）”の歴史を今に伝える島である。 (文化庁資料より)</p>	淡路市、洲本市、南あわじ市

認定年度	認定ストーリー	該当市町
2017 (H29)	<p>播但（ばんたん）貫く銀の馬車道・鉱石の道-資源大国日本の記憶をたどる73kmの轍（わだち）</p> <p>兵庫県中央部の播但地域。そこに姫路・飾磨港から生野鉱山へと南北一直線に貫く道があります，“銀の馬車道”です。さらに明延鉱山，中瀬鉱山へと“鉱石の道”が続きます。</p> <p>わが国屈指の鉱山群をめざす全長73kmのこの道は，明治の面影を残す宿場町を経て鉱山まちへ，さらに歩を進めると各鉱山の静謐とした坑道にたどり着きます。</p> <p>近代化の始発点にして，この道の終着点となる鉱山群へと向かう旅は，鉱山まちが放ついびし銀の景観と生活の今昔に触れることができ，鉱物資源大国日本の記憶へといざないます。 (文化庁資料より)</p>	養父市、朝来市、大河内町、市川町、福崎町、姫路市
2017 (H29)	<p>きっと恋する六古窯-日本生まれ日本育ちのやきもの産地-</p> <p>瀬戸，越前，常滑，信楽，丹波，備前のやきものは「日本六古窯」と呼ばれ，縄文から続いた世界に誇る日本古来の技術を継承している，日本生まれ日本育ちの，生粋のやきもの産地である。</p> <p>中世から今も連綿とやきものづくりが続くまちは，丘陵地に残る大小様々の窯跡や工房へ続く細い坂道が迷路のように入り組んでいる。恋しい人を探すように煙突の煙を目印に陶片や窯道具を利用した塀沿いに進めば，「わび・さび」の世界へと自然と誘い込まれ，時空を超えてセピア調の日本の原風景に出会うことができる。 (文化庁資料より)</p>	丹波篠山市
2017 (H29)	<p>荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～</p> <p>日本海沿岸には，山を風景の一部に取り込む港町が点々とみれます。そこには，港に通じる小路が随所に走り，通りには広大な商家や豪壮な船主屋敷が建っています。また，社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り，京など遠方に起源がある祭礼が行われ，節回しの似た民謡が唄われています。これらの港町は，荒波を越え，動く総合商社として巨万の富を生み，各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で，時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。 (文化庁資料より)</p> <p>7道府県11市町（北海道・青森・秋田・山形・新潟・石川・福井）による申請でしたが，兵庫県内の但馬・播磨・淡路・神戸にもゆかりの地はあります。</p>	
2018 (H30)	<p>【追加認定】荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～</p> <p>2017年度に北陸以北の7道県で認定されていたが，2018年度は神戸市や高砂市などの自治体を加えて15道府県に拡大された。兵庫県からは，神戸市（石灯笼）、高砂市（工楽松衛門旧宅）のほか，赤穂市（坂越の船祭）、洲本市（高田屋嘉兵衛邸宅跡）、新温泉町（為世永神社）などが追加認定された。</p>	神戸市、高砂市、赤穂市、洲本市、新温泉町
2019 (R1)	<p>「日本第一」の塩を産したまち 播州赤穂</p> <p>江戸時代，システムティックな入浜塩田（いりはまえんでん）による塩づくりが確立された播州赤穂。瀬戸内の穏やかな海と気候に抱かれ，千種川が中国山地からもたらした良質の砂からできた広大な干潟は，入浜塩田の開発に適していた。その製塩技術は，瀬戸内海沿岸に広がり，市場を席卷するまでに成長した。中でも赤穂の塩は，国内きってのブランドとして名を馳せ，赤穂に多彩な恵みをもたらした。このまちには瀬戸内海から生み出される塩とともに歩んできた歴史文化が蓄積され，現在に息づいている。赤穂は今なお「塩の国」なのである。 (文化庁資料より)</p>	赤穂市

認定年度	認定ストーリー	該当市町
2019 (R1)	<p>日本海の風が生んだ絶景と秘境～幸せを呼ぶ霊獣・麒麟が舞う大地「因幡・但馬」</p> <p>日本海から吹きつける季節風が創り上げた日本最大級の鳥取砂丘。目に見えぬ風の姿がさざ波模様の風紋に映し出され、海岸を進むと風が起こす荒波に削り出された奇岩が連なる。鳥取砂丘の砂を生み出す中国山地へと急流を辿ると、風がもたらす豪雪に育まれた杉林を背に豪邸が佇む。さらに源流へと分け入ると岩窟の中に古堂が姿を現す。これらは日本海の風が生んだ絶景と秘境である。人々は、厳しい風の季節での無事とそれを乗り越えた感謝を胸に、古来より幸せを呼ぶ麒麟獅子を舞い続け、麒麟に出会う旅人にも幸せを分け与えている。 (文化庁資料より)</p>	香美町、新温泉町
2019 (R1)	<p>1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼</p> <p>究極の終活とは、ただ死に向かって人生の整理をすることではない。人生を通して、いかに充実した心の生活を送れるかを考えることが、日本人にとっての究極の終活である。そして、それを達成できるのが西国三十三所観音巡礼である。日本人は海外の人から『COOL!』だと言われる。そのように評価されるのは、優しさ、心遣い、勤勉さといった日本人の本来の心であり、実はそれは日本人が親しんできた「観音さん」の教えそのものである。観音を巡り日本人本来の豊かな心で生きるきっかけとなる旅、それが西国三十三所観音巡礼なのだ。 (文化庁資料より)</p>	宝塚市、加東市、加西市、姫路市
2019 (R1)	<p>【追加認定】荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～</p> <p>北陸以北以外に、神戸市や高砂市などの自治体を加えて15道府県に拡大されていたが、2019年度、兵庫県からは、姫路市（中島家住宅など）、たつの市（室津海駅館など）が追加認定された。（2019年5月）</p>	姫路市、たつの市
2020 (R2)	<p>「伊丹諸白」と「灘の生一本」 下り酒が生んだ銘醸地、伊丹と灘五郷</p> <p>江戸時代、伊丹・西宮・灘の酒造家たちは、優れた技術、良質な米と水、酒輸送専用の樽廻船によって、「下り酒」と称賛された上質の酒を江戸へ届け、清酒のスタンダードを築きました。酒造家たちの技術革新への情熱は、伝統ある酒蔵としての矜持と進取の気風を生み、「阪神間」の文化を育みました。六甲山の風土と人に恵まれたこの地では、水を守り米を育てる人々、祭りに集う人々、酒の香漂う酒造地帯を訪れ、蔵開きを楽しむ人々が共にあり、400年の伝統と革新の清酒が造られています。</p>	阪神間日本遺産推進協議会